

四極会 寄附講義「会社研究」令和3年度 第7回目

令和3年6月2日(水) 13時10分

講師 西日本電線株式会社

代表取締役社長 鈴木 貞二 氏

テーマ 「情報通信と変化への対応」

## 第7回 鈴木貞二先生 西日本電線株式会社 代表取締役社長



<http://www.nnd.co.jp/message>

### ご経歴

1955年生まれ。1979年に東京都立大学工学部電気工学科卒業後、藤倉電線株式会社(現・株式会社フジクラ)に入社。同社配電事業部配電システム部長、理事 エネルギー・配電事業部副事業部長、常務執行役員 エネルギー・情報通信カンパニー エンジニアリング事業部長などを経て、2019年西日本電線株式会社 代表取締役社長に就任、現在に至る。

本業の他に、電気学会「電線・ケーブルに関する調査専門委員会」の委員や幹事なども歴任。

西日本電線の事業分野、情報通信の変化やその基盤となる光ファイバに関する需要動向、学生の皆さんへのメッセージ(大分自慢、就職後も勉強)、ミャンマーの変化など多岐にわたるお話がありました。(オンライン講義)

### 1 西日本電線(株)について

- 1950年に設立し、昨年70周年を迎えた。
- 経営理念であるMVCV (Mission・Vision・Core Value 基本的価値)を社員全員が共有。つねに従業員ひとりひとりが意識を高く持ち、「失敗をおそれない」という意識が浸透し、みずから積極的に発表するなどといった意識面での改革も行っている。
- 株式会社フジクラが親会社であり、株式の60%保有。2020年度売上額

は 236 億円となっている。

- 四つの事業分野を軸として事業展開している。
  - ・ ケーブル事業(電力配電ケーブル等)…売り上げの約半分
  - ・ 配電システム事業(住宅用プレハブ電線等) …3割
  - ・ モジュール機器事業(トンネル照明用の分岐ケーブル等)…約 13%
  - ・ 光機器システム事業(光ファイバー等) …10%程度であるがこれから伸びていく分野である。



## 2 光ファイバについて

- ものすごい勢いで通信データ量が増えており、大容量データを超高速・長距離まで送ることのできる光ファイバの需要増が見込まれる。  
光ファイバの世界需要の約半分は中国、280 百万 kmf で高止まりしている。
  - 世界市場の動向
    - ・ 世界的なファイバ関連ビジネスの需要増
      - 5G 商業化による伝送量の急速な増大
      - 大規模 Data Center 増による光多心化, 長尺化
      - IoT の黎明による光ネットワーク拡大
      - 更に DX で通信量拡大
      - 新型コロナウイルス蔓延でテレワーク、Eコマースなど通信量が急増
- 差別化された高密度実装光ケーブル(日本の得意な技術)はデータセンター、FTTH 用で日本より欧米へ輸出拡大  
中国の通信投資は 2020 年まで現状レベルで継続

製造キャパ増大に伴い安価光ケーブルの輸出国へ

○ 日本市場の動向

5G商業化による伝送量の急速な増大

テレワーク、Eコマース、オンライン学習、遠隔医療診断等通信量が急増  
4K/8K放送による伝送量の増大

高密度実装光ケーブルの開発と市場拡大

○ 光ファイバ市場

通信キャリア(NTTなど固定電話、携帯電話等の電気通信サービス提供会社)に加え、ISP(Internet Service Provider)、OTT(Amazon、Googleなどインターネット回線を通じてメッセージ、音声、動画コンテンツを提供する、通信事業者以外の企業)が光ファイバネットワークを構築している。また、近年ではデータセンターでも広がっている。

○ 光ファイバ市場

- ・ 生産能力増強(需要に合った設備増設)
- ・ キャリアからOTT/Data Centerへ
- ・ 高密度実装光ケーブル開発(継続的な差別化商品の創出→超多芯化、光ファイバの細径化)
- ・ 通信工事と一緒に(ケーブルの供給だけでなく)

3 学生の皆さんへ

○ 大分は素晴らしい。大分を自慢してほしい。

住みやすい気候であり、海・山などの豊かな自然がたくさんある。

住んでいる方はあたりまえだと思うかもしれないが、自分は東京の下町で育ったため、海山が目の前にあるということは大きな財産であると思う。週末は飽きない。

○ 就職後も勉強してください。

そして、次のことを大切にしてほしい。

- ・ 歴史に戻ること…未来のことはわからないが、過去に起きたことは事実。物事を考えるにあたっての判断材料となる。
- ・ コンプライアンス…倫理観を持って仕事をする事。
- ・ 寛容…いろいろな人と議論を交わし、相手の言葉を素直に受け入れる。  
相手を許して、自分の中に引き込む

4 質疑応答について

○ 近年の情報通信技術の進展は著しいものがあるが、御社はどのように対応してきているのか？

弊社には、失敗してもくじけない、あきらめない文化が根付いている。  
また、社会インフラを支える事業をやっているのだという使命感をもって仕事をしている。  
例えば、災害復旧の際、電線が切れた、ケーブルが足りないといえ、すぐに対応する。また、その中で新しい技術開発もしなければならない。  
これまでの70年間を踏まえ、さらに次へ進むため挑戦し続ける。

#### 5 ミャンマーの変化について

フジクラは、2015年に現地企業との合弁会社を設立した。

現在、軍事クーデターが起きているが、同国の情報通信事情は、固定電話→携帯→スマホという順番で普及してきた日本と違い、スマホが一気に拡大している。

このためたくさんの情報をすばやく入手できるようになり、例えば女性の装いなど、生活様式の変化もみられるようになった。

情報のすごさを改めて感じている。

以上